



# 島Pだより

No.44  
2020.3



## 本年度の活動から

島根県PTA連合会

会長 原 完次

今年度も島根県PTA連合会では各市郡のPTA連合会や単位PTA、母親委員会と連携し、研修会や様々な活動を行ってきました。それぞれの活動にご協力いただきました、保護者と教職員の皆様には、心より感謝を申し上げます。

さて、昨年丸山知事より発表されました島根創生計画において、少人数学級編制・スクールサポート事業の見直し案が提案されました。全国に先駆けて取り組まれてきた少人数学級編制は、児童生徒に対するきめ細やかな指導がなされていることが他県からも注目され、評価されている制度です。これに対して県内14市郡のPTA連合会の会員の皆様に現制度の維持をお願いする嘆願書への署名をお願いさせていただき、44,350名のご協力をいただきました。

この多くの方々からの思いは、島根の教育への期待と意識の高さ、そしてこれからの島根を担っていく子ども達への期待の表れであるということを県知事、県議会議長、県教育長に対して強くお伝えし提出をさせていただきました。ご協力をいただきありがとうございました。

そして、来年度からは小・中学校で順次、新しい指導要領に移行します。その中でも、これからの時代における様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を拓き、持続可能な未来の創り手となるために必要な資質・能力を児童生徒一人一人に身に付けさせることができるよう教育を行うためには、今以上に個に応じたきめ細やかな指導が必要になってくると考えます。

新しい時代に向けて、保護者と教職員の会であるPTAは社会教育団体としての役割を考え、学校と地域とともに今まで以上に連携を図り、よりよい教育・社会環境を創造するため、研修会などを通じて学び考える活動をしていきたいと思っておりますので、今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

# 事業報告

## 総務委員会

### 「PTA広報紙のさらなる充実に向けて」

委員長 名原 昌邦

令和元年度の総務委員会は、浜田地区が担当することになりました。総務委員会の担当事項は組織・運営に関することや広報紙に関する事で、ここ最近、主にPTA広報紙の活性化ということで、広報紙コンクール運営に力を入れています。お陰様で単Pをはじめ関係各位のご理解とご協力をいただき、前回の応募が8紙増の44紙と審査委員さんをさらに悩ますうれしい状況となっています。

この時の審査委員長の講評では「家族や子どもさんが家庭で広報紙を見て、笑顔で会話する光景を思い浮かべて、楽しみながら作っていただきたい」とありました。ついスマートフォンやタブレット等に依存してしまいがちな現代社会ですが、アナログ的なツールである紙媒体の広報紙によって、それぞれの家庭で学校や地域のことを語るきっかけになればいいなど考えています。その一助となるよう総務委員会としてもPTA広報紙のさらなる充実に向けて、活性化に取り組んでいきます。各学校でいろいろなお事情があるかと思いますが是非、子ども達の笑顔を想像しながら、わいわいガヤガヤと楽しみながら作成していただき、どしどし応募していただければと思います。次回も審査委員を悩ます多くのPTAからの応募をお待ちしています。

## 教育問題委員会

### 各単Pでのより充実した活動をめざして

委員長 田辺 俊成

教育問題委員会は、今年度は仁多・雲南・飯石・出雲地区が担当しています。本委員会には、日P協の調査研究(アンケート)への協力とともに、活動方針や研修大会についての検討等が求められています。今年度は、アンケートへの協力とともに、これからのより充実したPTA活動をめざすために、今一度原点に立ち戻り、各地区のPTA活動の現状等の共有を行ってはどうかとの話になり、12月に出雲市において、委員会を開催しました。

4つの地区からそれぞれ現状と問題点を出し合い、検討をし

ました。子どもたちの数の減少に伴うP数の減少、そして、各種活動への参加者数の減少などが話題となりました。解決の方法として、事業の選択と集中をさらに図ることの大切さの他、行政等からの各種研修プログラムメニューを各単Pに提供してはどうかという提案がありました。これにより、各単P役員もよりスムーズに、より充実した研修の実施が可能になるのではないかと思います。合わせて、各単Pが行った研修の中で、有意義だった研修等(講演講師等も含めて)を共有できる場が用意され、ヒントを得ることもできればよいのではないかと思います。

今回の委員会では、研修大会についての持ち方の具体的検討には至りませんでした。互いの活動から知恵と元気をもらい、今後の各市郡・各単Pの活動を充実したものにしていかなければと意識を高めることができ、充実した思いを互いにさせていただきました。

## 厚生委員会

### 三行詩の審査を終えて

委員長 河内 裕司

厚生委員会は益田・鹿足地区が担当させていただきました。今年度は鹿足地区が主担当として、三行詩の募集及び審査を主な内容として取り組みました。

今年度の応募総数は前年度を上回る294点の応募がありました。応募参加校と参加点数は、小学校の部10校214点、中学校の部6校67点、一般の部小中併せて4校13点となりました。全校児童・生徒で取り組んでいた学校やクラス全員で応募していただいた学校、生徒・教職員・保護者みんなで参加していただいた学校など、積極的に参加していただき大変うれしく

思いました。7月には1次・2次審査会を開催し、各部門5点を全国推薦させていただきました。

家族や地域の絆の大切さを感じることでできる心温まる作品を推薦させていただきましたが、残念ながら今年度も全国表彰を受賞する作品の選出はありませんでした。

審査会の中で、審査員の方から「心温まる作品が多いが、島根県や応募した地域の地域性が感じられる作品があればいいのではないか」というお言葉をいただきました。

今後の参考になる大変貴重なご意見だと感じました。家族への思い、子ども達への思い、地域への思い。このような思いを三行詩に載せて表現していただけたらと思います。

今年度も多数の作品を応募していただきありがとうございました。来年度も多数の作品をご応募いただきますようよろしくお願いいたします。

## 環境対策委員会

### 教育環境維持に向けた署名活動について

委員長 長谷川修二

2019年度の環境問題委員会は、島根県PTA連合会全体で

協力を頂きました『教育環境維持に向けた署名活動』を積極的に展開させていただきました。

これは、島根県が島根創生計画(案)の中で、少人数学級編制やスクールサポーター制度、図書館司書の制度の見直しを示し、子どもたちに寄り添う先生やスクールサポーター、図書館司書が削減されることで、きめ細やかな教育や現場での様々な問題解

決に多大な影響があると予想されることから、現状維持をお願いする署名を呼び掛けたものです。

そしてその結果、島根県内の全市郡からご賛同いただける方44,350名分の署名が集まり、島根県知事さんや島根県議会議長さん、そして島根県教育長さんへ提出させていただきました。

その際、藤原島根県副知事さんからは、『島根県の財政が厳しいために断腸の思いで少人数学級編成等の見直しを提案させて頂

いているところで、まだ決定ではないが今後皆様にご理解が頂けるように説明をして参りたい』とのお答えがあり、新田島根県教育長さんからも『大変な現場(学級)には加配を含めて混乱しないようにしっかり対策を検討して参りたい』とのお答えがありました。

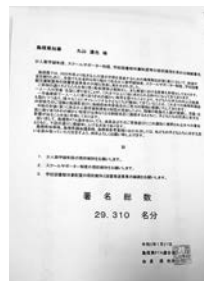
先日発表があったように、島根県教育委員会として少人数学級編成等の見直し案

の内容を一部修正され、小学校1年生の学級においても少人数学級を継続し小1ギャップに対応していくとのことで、署名

という形でありましたが皆様のお声が届いたものと思われま

す。もとより『子どもたちの教育環境を守ること』は全PTA会員共通の願いであり、私ども島根県PTA連合会環境問題委員会と致しましては、大変に短期間ではありましたがたくさんの方々にご賛同して頂き、また各市郡の役員の皆さん、各単Pの会長の皆さんには取りまとめて頂き、その熱意と行動力に敬意と感謝を表する次第であります。

今後も『子どもたちの教育環境を守ること』を旨として活動して参りますので、ご協力を頂きますようよろしくお願い申し上げます。



## 母親委員会

### 12月1日島根県PTA連合会・母親委員会研修会 「一人一人の子たちの人生が 自立した幸せなものであるために」

委員長 中村 美帆

今回ミニコンサートでは、同じように子育てをしている3人の女性達が、クラシックやディズニーなど知っている曲を、やさしい音色で演奏してくださり、心休まる時間を過ごすことができました。

森源太さんの講演では、多くのキーワードがありました。「子どもに宝物だよ、愛しているよと言っていますか?」「子どもたちは、まだ楽しいことに出会っていないだけ」「自分がやりたいことがあるとき、楽しそうにしている人に相談すると、楽しくなる方法を教えてくれるよ」沢山ある経験や想いを歌にして届けてくださいました。子どもに話すように語りかけてくるその言葉は、私たち大人が欲している言葉でもあったように感じました。

中でも一番強く発信されたのは「自分に生まれて良かったと思ってほしい」という言葉です。そこに至るまでに、これから、沢山のことに会うであろう子どもたちの傍で、私たち保護者がどのような気持ちで関わっていくのか。今日の講演にヒントがあったように思いました。

母親委員会は、各市郡PTAの女性が1名代表として集まってできています。今興味のあること、知りたいことやPTA活動で困っていることなどを話し合ったり、研修を企画しています。女性がしっかりと発言し、活躍する場になっています。今回の研修会も多くの方にご参加いただき、うれしく思っております。ありがとうございました。

この度は第19号台風災害義援金募金にご協力頂きありがとうございました。

募金額は20,675円となりました。日本赤十字社へ納めさせて頂きました。



## 全国表彰

### 日本PTA全国協議会・年次表彰式へ参加 大田市立北三瓶小・中学校 校長 堀江真佐邦

北三瓶小・中学校PTAは、その功績が認められ、県内では、松江の内中原小学校とともに「文部科学大臣表彰」を受けました。これまで学校を支えていただいたすべてのみなさんのおかげだと感謝しています。本当にありがとうございました。

本校の現PTA会長である大國さんは、長年の会長任期を今年度末で終えられます。そこで慰労を兼ねて、標記の式典に私も同行することにしました(もちろん私は自費です(^-^))。

式典会場は、まさに渦中の会が行われた、日本屈指の大きなホテル。会場の広さや人の多さ、そして毎年こんなにも多くの団体・個人が表彰されていることに、とても驚きました。それと同時に、日本PTA全国協議会の結束力、PTA活動の重要さと楽しさを

感じました。全国表彰ですから当然ではありますが、参加されているみなさんが明るい!

どなたかが言っておられました。「PTA活動自体は子どものためにと始めて始めるけど、深く関われば関わるほど自分が楽しくなる」と。

地域の中にあるのが学校!その学校にとって、保護者や地域の方の協力なくして運営は成り立ちません。小規模校である本校はそれを痛切に感じていますし、連携・協力をベースに教育課程や各種行事等を考えているのが本当のところですよ。

これからも、地域の方々を含めたよりよいPTA活動とその活性化をめざして、北三瓶のみなさんと、明るく楽しく協力していきたいと決意を新たにしました。



島根県から参加されたみなさん



# PTA 活動紹介

【隠岐地区】

## 「小・中PTAの協力」

西ノ島町立西ノ島小学校PTA

会長 田中 佳孝

西ノ島小学校は小中併設型の校舎であり、小中のPTA会員が互いに協力しながら、年間を通して児童・生徒のより良い成長のために活動しています。

8月24日(土)に小中の児童生徒とPTAで環境整備作業を行いました。校庭周りの草刈り、校舎内の窓やテラス、ロッカーなどの上、階段の手すりなど普段できないところを清掃・整備することができました。2学期のスタートに向けて、自分たちの使う校舎をきれいにすることに時間いっぱい取り組みました。また、作業の中で、児童生徒とまたはPTA同士がいろいろな話ができたととても有意義なものになりました。

10月14日(月)、今年度で2度目となる小中合同運動会が開催されました。今回の目玉である中学生との合同運動会の特色が生かされ、児童・生徒がほほえましく交流をする姿があちらこちらで見られました。小・中PTA役員も用具係や駐車場係を行い、合同運動会を盛り上げました。

10月27日(日)に島前PTA連合会主催のミニバレーボール大会がありました。本校がPTA連合会事務局となっていることもあり、9月以降、実行委員会を開いたり選手や協力員を募ったりしながら、小・中PTA役員と会員が協力して準備をしてきました。西ノ島小・中合同で4チームをつくり大会に出場しました。大会の目的である「PTA間の親睦を深める」ことができました。



【松江地区】

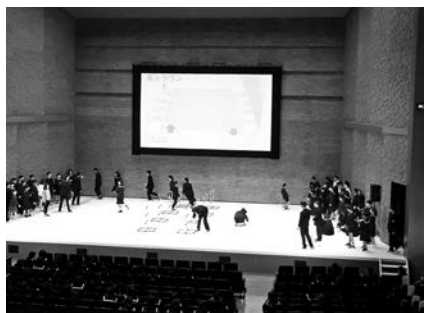
## 「安来三中校区健全育成大会」

安来市立荒島小学校PTA

会長 白根 澄男

この度は、荒島小学校だけでなく、安来三中校区のブロック長として、中学校区内で取り組みをしました「安来三中校区健全育成大会」について紹介します。

三中校区では生徒・児童の健全育成を目的に、校区内の三小学校の五・六年生と三中の生徒を対象に健全育成大会を開催しています。本年度は、安来市総合文化ホール「アルテピア」において十一月十四日(木)に行いました。小ホールには、児童生徒の他、来賓の皆様や児童の保護者も集まり



和気あいあいとした雰囲気でした。

本大会は安来三中校区健全育成協議会により企画し、三中生徒によって全体の進行、イベントなどの運営がなされ児童との親睦を深めております。今年度の交流活動は、「スピードラダーゲッター」という縄投げ遊びでした。三中生徒と児童全員が、五～六名の班に分かれステージ上に集まりました。簡単なようでも思った以上に難しいゲームを進めるうちに、初めは緊張していた児童達も三中生徒のお兄さんお姉さんのリードで、最後は楽しく夢中になって参加していました。後輩を思いやる三中生徒の心にも触れ、大会の目的を達することができたと感じました。その他、三中生徒による動画での部活動紹介もあり、日頃の練習風景などが映し出されました。中学校生活や入部につながる工夫がありました。

小学校の校長先生の「三つの小学校の良さが三中に繋がり、文化が交わり、そして融合することで新たな三中の文化となる。」とのあいさつの言葉が印象に残りました。

本校のみならず、地域が寄り合って皆で児童・生徒を見守り、文化を育てている、まさしくその現場に触れることができ、保護者として大変嬉しく感じました。

【出雲地区】

## 「みんなでチャレンジ! 『なぞとき脱出ゲーム』」

雲南市立斐伊小学校PTA

会長 村松 優

斐伊小学校では、例年夏休み期間中に「PTA親子活動」を行っていました。ここ数年「空き缶つみ大会」を開催していましたが、参加者数が伸び悩んでいました。そこで、部会を開き新しい企画を検討しました。いくつかの案が出ましたが、子どもたちがワクワクして参加できそうな「なぞとき脱出ゲーム」に決定しました。親

子で参加してもらうことが好ましいのですが、各家庭の都合もあるので子どもだけの参加も可としました。開催日も近年の暑い夏を考慮して、11月にしました。

開催当日、体育館に8時半に集合して、チーム分けの発表とルール説明をしました。今回の活動は、チーム(縦割りの異学年で構成されたグループ)で協力して、制限時間内に課題をクリアしていくものです。参加者には景品を用意しました。

このゲームでは、ボウリング、ストラックアウト、空き缶つみ、輪投げ、クイズ(6問)の計10か所の関門を突破する必要があります。学年に応じてハンディキャップを設定し、誰もが楽しんで参加できるようにしました。ボウリングは、初めての子もおり、お互いに教え合いながら協力していました。また空き缶つみは、話し合って工夫し

たことをチームで生かしながら、高く積み上げていました。クイズは、なかなかの難問で、高学年が知恵を絞りましたが、解けないチームがたくさんありました。それでも最後まで、あきらめず各部門を突破しようと、一生懸命取り組んでいました。

子どもたちの感想を聞いてみると、楽しかった様子がよく分かりました。親子で取り組む活動で、親が審判やクイズの出題者になり、この活動を支えていました。来年度は、さらに参加者が増え親子の触れ合いの一助になることを願い、親子活動を工夫していきたいと考えています。



## 【浜田地区】

# 子どもたちの笑顔のために ～郷田っ子わくわく祭りの取組～

江津市立郷田小学校PTA

平成30年度会長 松田 史恵

江津市立郷田小学校では、毎年、学習発表会の日の午後、PTAが中心となって『郷田っ子わくわく祭り』を行っています。こ



この祭りは、何年も前から受け継がれているPTA行事です。ここでは、平成30年度の『郷田っ子わくわく祭り』の様子を書かせていただきます。

わくわく祭りの目的は、親子のふれあい、親同士、学校の先生や地域の方々との繋がりを深め、交流の場とすることです。祭りでは、【屋台コーナー(豚汁・カレーライス)】【軽食コーナー】【わくわくコーナー(あてくじやゲー



ムなど)の3コーナーがあります。

郷田小学校では、日頃から地域とのかかわりが多く、我が子や孫のように子どもたちとかわっていただいています。そこで、祭りをとおして地域とのつながりを大切にしたいと考えました。そして、地域とのつながりを大切にするために、「地域の方に来店やお手伝いで参加してもらおう。」「軽食コーナーや屋台コーナーで扱う食品や食材を地元のお店から仕入れる。」の2点を考えました。

次に、わくわく祭りの運営をするために、実行委員会を立ち上げました。また、前日と当日のお手伝いを募集しました。実行委員会には24名、お手伝いには50名の参加がありました。当日までの話し合いでは、みんなで活発に意見交換をしました。前日も当日も、和気あいあいと楽しく活動を行うことができました。

当日は、大変たくさんの方で盛り上がりました。子どもにとっても大人にとっても楽しい一日になりました。

わくわく祭りをとおして親同士の繋がりが深まりました。また地域の方々の協力を受け、よい交流の場とすることもできました。その反面、保護者の数が年々減っており人手が足りないといった課題も上がりました。今後は、内容を毎年変えていくのではなく、おおまかなマニュアルを作り、それを基本としながら、工夫して運営をしていきたいと考えます。今後も郷田小学校PTAだけではなく、地域の方にも協力をさせていただき、家庭・学校・地域が一体となって子どもたちを見守っていききたいと思います。

## 【益田地区】

# 「正しい姿勢と 健康づくりを考える」

吉賀町立六日市小学校PTA

会長 河内 裕司

私が小学生の頃の遊びといえば、鬼ごっこやかくれんぼなど、外で走ったりすることが当たり前でした。しかし最近では、ゲームなどが進歩し、家にいながらも友達と遊べる時代となり、子どもたちの運動量や体力は減少傾向にあり、それについての意見もよく耳にするようになりました。

六日市小学校ではPTA研修として、保護者でありながら、その道の第一線でご活躍をされておられる、「PHI Pilates Japan代表 桑原匠司さん」に、「姿勢改善とコーディネーショントレーニング体験」と題して、ご講演いただきました。過去に鹿足郡の研修としても、保護者を対象とした、「正しい食事と栄養、姿勢」についてご講演いただいたことが好評でしたが、今回は親子でストレッチや筋肉トレーニングなどを実際に行いながらの研修となりました。どんなスポーツでも正しい姿勢づくりが大切ということでしたが、

子どもたちにとってみれば、勉強や食事の姿勢もとても大切なことです。研修の中では、どの筋肉をどのように鍛えればいいのか、どのようなストレッチが有効なのか、などを具体的に教えていただきました。今回は、親子でも実施ができたため終了後には、「教えてもらったストレッチや体幹トレーニングを活かして、家族でも健康づくりができるといい」などのうれしい声も聞かれました。

私事ですが、この研修で学んだことをまとめ、所属するミニバスケットボールチームで体感トレーニングとして活用させていただきました。

PTA研修としての取り組みでしたが、今後は地域でもこのような健康づくりの機会を通じて、それぞれが一体となることができればよいと感じました。





# 日本PTA中国ブロック研究大会 広島市大会に参加して

益田市PTA連合会 佐伯 紀和

昨年11月1日、11月2日の2日間、日本PTA中国ブロック協議会及び日本PTA中国ブロック研究大会に参加しました。

1日目の中国ブロック協議会の定例会では、6月に行われた第1回目の会議と同様、中国地方PTA役員の熱い皆さんによる白熱した会議となり、皆さんのPTAに対する熱い思いを肌で感じられました。

定例会の後は歓迎レセプションということで日本PTA全国協議会の佐藤秀行会長を含めた来賓の方々が出席のもと、原爆ドームの横にある「おりづるタワー」で懇親会が行われました。日本PTAの会長さんといえば僕にとっては雲の上の存在でしたが、ご縁を頂きお話しすることができました。会長さんは気さくに話してくださり、熱い思いや役員をやっている苦労話等お話ししたりしましたが、本当に僕らの気持ちを分かち合われて、胸の熱くなった懇親会となりました。

2日目の中国ブロック研究大会は平和記念公園にある広島国際会議場で行われました。朝、ホテルを出る際にたまたま佐藤会長さんと一緒になり、会長さんも広島は初めてということだったので原爆ドームや平和公園内を案内しながら会場に向かいました。

会場に入るとほぼ満席でPTA会員の皆さんの意識の高さを感じました。

午前中は広島市PTA協議会による実践発表が行われました。PTAの代表2名の方と広島市内の中学校の代表2校の生徒さんによるいじめに対する取り組みをテーマにした4つの発表で、どれも力を入れて活動していると感じると共にPTAと学校がしっかり手をとっていじめを無くそうと取り組みをしていることに感銘を受けました。

午後からはアトラクションとして広島市立千田小学校の児童さ

んによるパンフルートの演奏から始まりました。被爆して生き残ったカイツカイブキから生まれ変わったパンフルートによる「アオギリのうた」の演奏は心に響きました。

記念講演会は戦場カメラマン渡辺陽一さんによる「世界からのメッセージ～未来へ生きる子どもたちのために～」の演題による90分の講演でした。講演の中で渡辺さんは世界中で起こっている紛争やテロ行為の悲惨さと、それに嫌でも巻き込まれている子どもたちが戦火の中で必死に生きている惨状を訴えられていました。そのことに心も痛みましたが、私たちがいかに平和の中で生かされているかということに、改めて命の大事さを考えさせられた内容でした。

記念公演の終わりに広島市内の小学生2人により「平和への誓い」のメッセージが読み上げられましたが、これもパンフルートによる「アオギリのうた」の演奏と同様、心に沁みわたりました。

閉会行事では広島県PTA連合会の山本会長さんによる大会宣言の後、日本PTA協議会の佐藤会長さんから広島市PTA協議会の原本会長さんへの感謝状贈呈とつづき、無事閉幕を迎えました。

大会に参加してから広島市のPTAのみなさんと子どもたちの平和への熱い思いが十分に伝わり、そして私にとって良い「学び」の場になった。そんな中国ブロック研究大会だったと感じました。



## 事務局だより

### 令和2年度事業について

#### 1. 広報紙コンクール

- (1) 応募締切日 令和2年3月31日(火)
- (2) 応募条件
  - ・年2回以上発行していること
  - ・2作品につき3部ずつ送付(コピー不可)

#### 2. 県P会長表彰

- (1) 団体締切日 3月27日(金)
- (2) 個人締切日 4月24日(金)



#### 3. 大会等の予定

- (1) 新旧会長会 6月6日(土)午後～ ホテル白鳥
- (2) 委員総会 6月7日(日)午前10:00～  
ホテル白鳥
- (3) 島根県PTA連合会研修大会松江大会  
10月17日(土)
- (4) 日P富山大会 8月28日(金)・29日(土)
- (5) 中国ブロックPTA研究大会岡山県総社大会  
11月7日(土)
- (6) 幼こども園・小中・高・特別支援PTA連絡協議会研修会  
(会場:大田市)11月28日(土)
- (7) 県母親委員会研修会(会場:あすてらす)  
12月5日か6日
- (8) 理事・事務局長会  
2021年2月20日(土)10:00～ 予定(松江)



令和元年度

# 島根県幼こども園・小中・高・特別支援PTA 合同研修会

研修テーマ

## 地域を担い、未来を生きる子どもたちを育むための学びとは

学校・家庭・地域が連携・協働し、地域総がかりで子どもを育てていくために、親やPTAが果たすべき役割や可能性等について考える研修会が下記のとおり開催されました。

○期日：令和元年12月14日(土)

○会場：大社文化プレイスうらら館(出雲市)

この研修は、本連合会も構成員となっている島根県幼こども園・小中・高・特別支援PTA連絡協議会と島根県教育委員会が共催し、企画・運営を行っています。当日は、県内の幼稚園・こども園から高校・特別支援学校までのPTA会員等、約130名が参加しました。

今回は、隠岐国学習センター センター長の豊田庄吾氏を講師にお招きし、未来を生きる子どもたちにとって必要な力を育むために、親としてどのような意識を持ち、学校・家庭・地域が連携しながらPTAとしてどのように取り組めばよいのかについて、講演や意見交換を通して考えました。

豊田氏からはAI化が進んだ未来社会についての参考映像を提示していただいたり、人生において重要な3つの資本のうち、PTAとしては「社会関係資本」(人間関係、信頼、助け合い)が活動の基本となることについてお話しいただいたりしました。

また、豊田氏の参加者に対する明確な問いかけと臨機応変な進行により、参加者自身が主体的・対話的に考え、積極的に意見交換を行いながら考えを深めることができました。

豊田氏からは、未来を生きる子どもたちに身につけさせたい資質や能力を問う前提として、子どもたちが安心して学べる学びの土壌や環境を大人が整えていく役割があること、突き詰めていけば、私たち大人としてのあり方が問われていることを重ねて教えていただきました。



### ●参加者の感想から…

- 人との関わりが大切だということに改めて気づかされた。大人がすべて手を貸すのではなく、「問いかける」ことも大事だと思った。
- 自分に学びの責任があることを意識できた。自分がPTA活動を通して、何を学びたいのかという点も考えながら活動したいと思う。
- 今日学んだ視点をPTA活動に取り入れ、既存の活動を少しずつカスタマイズしていきたい。

PTAを取り巻く多様な関係性の質を高めつつ、小さなことから小さく始めることの大切さに気づいた参加者のみなさんにとって、明日からのPTA活動に活かせる様々な視点をいただいた研修会であったと思います。

島根県PTA連合会

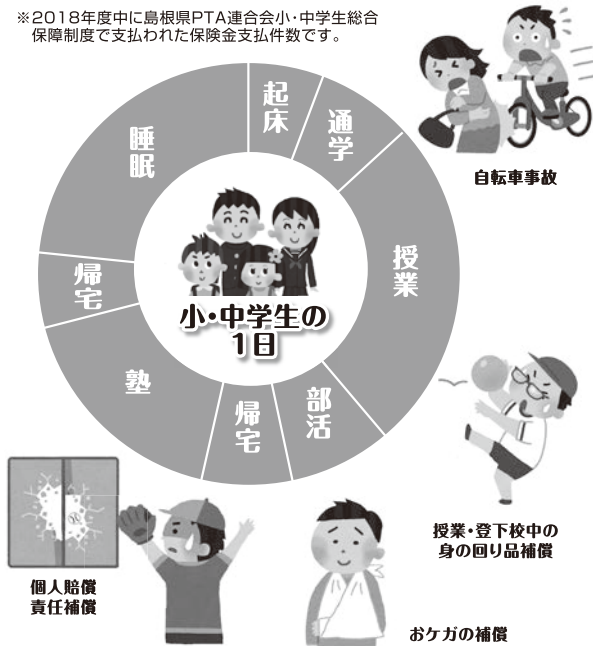
# 小・中学生総合保障制度 (こども総合保険)

2018年度  
保険金お支払件数 **2,198**件

※2018年度中に島根県PTA連合会小・中学生総合保障制度で支払われた保険金支払件数です。

2020年1月現在の内容です。

## 選べる4プラン (2020年度版)



プラン年間掛金	
Zプラン	17,500円 (1年分の掛金)
Sプラン	10,000円 (1年分の掛金)
Tプラン	7,000円 (1年分の掛金)
Aプラン	5,000円 (1年分の掛金)

### 総合保障制度の特長

※プランによってセットされている補償項目は異なります。総合保障制度の詳細に関しましては、パンフレットをご覧になるか引受保険会社にお問い合わせください。

- 補償期間中、1日24時間(学校の休みの日も)補償  
(ただし、一部の補償は24時間補償ではありません。)
- 自転車事故による損害賠償責任も国内無制限補償
- お子さまがケガをした場合に補償
- 熱中症、細菌性食中毒、ウイルス性食中毒を補償
- 地震・噴火・津波によるケガを補償
- 学校の授業・登下校中などにお子さまが携行している身の回り品を補償  
(修理費または時価額のいずれか低い金額を補償します。)
- お子さまの病気入院・手術を補償
- オンラインで簡単に保険金請求(デジタル保険金請求)  
※デジタル保険金請求の対象となる補償の有無は、加入者証にてご確認ください。
- 弁護士相談サービス付き

〔取扱代理店・扱者〕  
 東部地区、大田、邑智郡、隠岐郡  
 …(有)メ イ ジ (0120-001-230)  
 浜田、江津  
 …(有)コテラ総合保険(0855-28-2121)  
 益田、鹿足郡  
 …(有)ビッグ・マインド(0856-23-7353)

〔引受幹事保険会社〕  
**AIG損害保険株式会社 山陰支店**  
 松江市伊勢宮町519-1 大同生命ビル6F  
 (受付時間:午前9:00~午後5:00 土日・祝日年末年始を除く)  
 TEL.0852-26-2781 FAX.0852-26-2776

S-200354 有効期限2021年2月



編集/発行 島根県PTA連合会 事務局/松江市黒田町538 TEL0852-27-5803 FAX0852-26-7710  
 E-mail:simapren@ms1.megaegg.ne.jp http://www.shimane-pta.jp 島根県PTA連合会 検索